



第5回講義『地球の外から石を持ち帰る：サンプルリターン計画のこれまでとこれから』（12月13日（土）実施）にて、みなさんからアンケートでいただいた質問に講師の藤谷渉先生（茨城大学 学術研究院基礎自然科学野 准教授）から回答をいただきました！

・冥王星はなぜ太陽系から消えたのですか。

太陽系から消えたのではなく、惑星とは見なされなくなったのです。惑星と認められるためには、①太陽を回る、②自分の重さで丸い、③近くに自分と同じような大きな星がない、という3つが必要ですが、冥王星は3つめの条件をクリアしていないからです。

・外国のサンプルリターン計画に協力したことはありますか。

アメリカのオサイレス・レックスというサンプルリターン計画で得た小惑星の砂の分析を協力したことがあります。また、いまヨーロッパの新しいサンプルリターンの計画にも協力しています。

・宇宙にも静電気はおこるのですか。

静電気というのはちょっと誤解を生む言い方だったかもしれません。ちりの粒が互いにくっつくのは、粒同士にはたらく電気の力があるためです。難しいことばでそのような力を「分子間力（ぶんしかんりょく）」と言います。

・イトカワ、リュウグウの名前はどこからきたのですか。

イトカワは日本のロケット開発を導いてこられた糸川博士の名前からです。リュウグウはJAXAが一般の皆さんからの意見を集めて決めました。両方とも国際天文学連合という組織に提案して認められたのち、正式に命名されました。

・MMX以降にもサンプルリターン計画はありますか。

はい、日本を含め各国が小惑星や彗星、火星などからのサンプルリターンを計画しています。

・MMX以外に火星の月に行く計画はありますか。

いまのところはありません。MMXは唯一無二と言えると思います。

